

平成30年度 第1回 木曾川水系流域委員会 【愛西市かわまちづくり計画の登録について】

平成30年6月26日

国土交通省 中部地方整備局

木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所

かわまちづくり支援制度とは

- 「かわまちづくり」とは、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組みをいう。
- 「かわまちづくり支援制度」とは、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すもの。

かわまちづくり支援制度の概要

ソフト対策

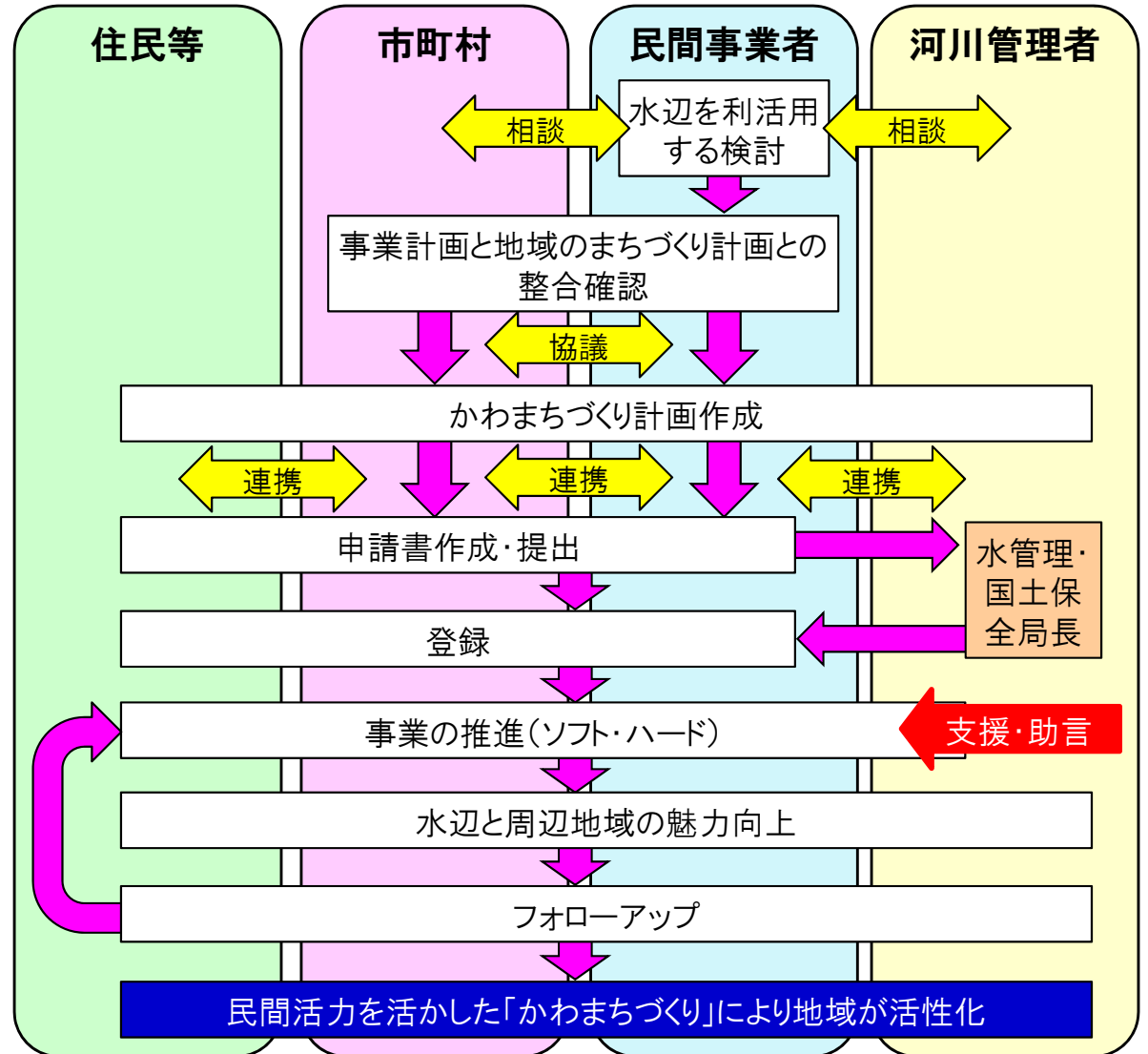
- 民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度等を活用
- 河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援

ハード支援

- まちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援
- 基盤整備、親水護岸、緩傾斜堤防など

実績一覧表

県市町村名	河川名	計画の名称	登録(認定)年月日	事業主体
岐阜県下呂市	飛騨川	飛騨川下呂地区かわまちづくり	H21.5.22	岐阜県下呂市
岐阜県美濃加茂市	木曾川	美濃加茂地区かわまちづくり	H22.9.24	国土交通省美濃加茂市
岐阜県本巣郡北方町	糸貫川	北方町かわまちづくり	H25.11.12	岐阜県北方町
岐阜県大垣市	水門川	大垣市かわまちづくり	H28.3.28	岐阜県大垣市
岐阜県可児市	木曾川	可児市かわまちづくり	H29.3.7	国土交通省可児市
岐阜県加茂郡富加町	川浦川	富加町かわまちづくり	H30.3.26	岐阜県富加町
愛知県一宮市	木曾川	一宮北部地区かわまちづくり	H21.5.22	国土交通省一宮市
愛知県愛西市	木曾川 長良川	愛西市かわまちづくり	H30.3.26	国土交通省愛西市



愛西市かわまちづくり計画の登録に向けて

- 愛西市及び地域団体等は、かわまちづくりを進めるため、「愛西市木曾三川ミズベリング協議会」を設立。
- 地域と一体となってまちと水辺が融合した良好な空間を形成し、観光振興や地域活性化に貢献していくため、必要となるソフト施策及びハード対策について検討を進め、平成29年11月にかわまちづくり計画をとりまとめた。

愛西市木曾三川ミズベリング協議会

委員区分	所属	役職
地域関係団体	愛西市観光協会	会長
	愛西市商工会	会長
	あいさいボランティアガイドの会	会長
	立田ふれあいの里運営連絡協議会	会長
	福原新田町	総代
行政団体	愛西市	副市長
	愛西市	産業建設部長
	愛西市	産業振興課長
	国土交通省木曾川下流河川事務所	副所長
アドバイザー	四日市大学	学長



第3回協議会の開催状況



現地視察状況

回	開催日	内容
準備会	H29.8.18	・概要説明 ・現地視察
第1回	H29.9.27	・かわまちづくり支援制度について ・木曾三川を活用したより魅力あるまちづくりに向けて ・今後の進め方について
第2回	H29.10.31	・かわまちづくり計画の検討 (かわまちづくりの方針・整備イメージ)
第3回	H29.11.30	・かわまちづくり計画のとりまとめ

愛西市かわまちづくり計画におけるソフト施策①

【ソフト施策】

- (1)木曾川観光船の運航ルート充実と効率性の向上
- (2)エコツアー・インフラツアーのパッケージ化
- (3)企業(鉄道会社・旅行会社)と連携した体験プログラムのメニュー化
- (4)周辺の観光施設・地域資源の交通ネットワーク構築(レンタサイクルの新設・サイクルトレインの利用促進)
- (5)交流イベントの開催
- (6)船舶操縦や観光ガイドの人材確保・育成
- (7)インバウンド対応

ソフト施策

- (1)木曾川観光船の運航ルート充実と効率性の向上
- (2)エコツアー・インフラツアーのパッケージ化

- 観光船のルート充実、効率性の向上
- 点在する地域資源の関連づけし、価値を向上

土木遺産探索コース

(1時間程度：木曾川船着場⇔船頭平閘門⇔長良川船着場)



自然環境散策コース
(1.5時間程度：葛木港→ケレップ水制群(散策)→葛木港)

双方のコースのパッケージ化も検討

愛西市かわまちづくり計画におけるソフト施策②

ソフト施策

(3)企業と連携した体験プログラムのメニュー化

- 体験プログラムを充実し、鉄道会社や旅行会社と連携した情報発信、ツアーの展開

出典:Japan Highlights Travel※
ホームページ
(H27.11現在公開)

※JR東海が、東海道新幹線沿線の観光情報等を発信



(4)周辺の観光施設・地域資源の交通ネットワーク構築

- 周辺の観光施設・地域資源をつなぎ、周辺地域の魅力を満喫できる交通ネットワークを構築
(既存のサイクルトレインの活用やレンタサイクル拠点の増強)



出典:養老鉄道(株)ホームページ

(5)交流イベントの開催

- 桑名市、海津市等の近隣自治体や関係団体と連携した交流イベントの開催

桑名市観光協会による舟運観光



(6)船舶操縦や観光ガイドの人材確保・育成

- 観光船の操縦を行う人材、ネイチャーガイド、インフラガイド等の人材確保、育成



出典:環境省ホームページ

(7)インバウンド対応

- 外国人観光客の増加を図るための留学生を対象としたツアーの開催
(留学生から母国の方々への情報発信につなげる)



海津市における留学生を対象にしたツアー

愛西市かわまちづくり計画におけるハード対策

【ハード対策】

(1)木曾三川公園周辺整備(長良川右岸、木曾川右岸)

木曾川側、長良川側にそれぞれ船着場を整備することで、観光船の周遊性、利便性、コースの充実を図る。

(2)ケレップ水制周辺整備(ケレップ水制周辺、葛木港周辺)

水制間の陸地化・樹林化が進行しているケレップ水制群周辺の湿地を再生するとともに、アクセスしやすい環境整備を行う。

ハード対策



【長良川右岸】
・船着場の新設
・周辺整備

【木曾川右岸】
・船着場の新設
・周辺整備

【ケレップ周辺】
・ワンド再生
・船着場整備
・園路整備
・周辺整備

自然環境散策コース

【葛木港周辺】
・周辺整備

土木遺産探索コース



愛西市かわまちづくり ケレップ水制とワンド

- ケレップ水制とは、粗朶と石で造られたオランダ式水制であり、明治改修(明治20年～45年)において新たに設けた低水路の固定と流水の衝撃の緩和を目的に設置された河川構造物で、平成12年には、土木学会選奨土木遺産に指定されている。
- ワンドとは本川とつながっている水がよどむところ(死水域)であり、稚魚の生息場や魚類の休息場としての機能を持っている。

ケレップ水制とワンド

ケレップ水制

- ケレップ水制はオランダ人技師のエッセンやデレイケらが我が国に導入したもので、河岸から川の中央に向かって突き出した突堤。
- 大部分が明治30年～32年に設置。



ワンド

- ワンドは緩流環境を必要とする生物が繁殖場等として利用できる基盤環境。
- 樹林化が進行しているケレップ水制群周辺のワンドを保全・再生を図る。



愛西市かわまちづくり計画の登録

- 重要文化財である船頭平閘門やケレップ水制といった多様な自然環境など、魅力ある地域資源を有している愛西市では、これらの資源を繋ぐ木曾川観光船のルートを充実することなどにより、更なる観光振興、地域活性化等に取り組む。
- 平成30年3月26日付けで、愛知県愛西市(木曾川水系木曾川・長良川)の「愛西市かわまちづくり計画※」が登録され、平成30年3月30日に登録証を伝達

日 時：平成30年3月30日（金） 14時00分～14時30分

会 場：愛西市役所 市長応接室

出席者：愛西市長、中部地方整備局長、木曾川下流河川事務所長



塚原局長より日永愛西市長へ登録証を伝達
(飯野木曾川下流河川事務所長、日永愛西市長、塚原中部地方整備局長)



愛西市長の挨拶

木曾三川の自然の豊かさや、
歴史文化を、より一層PRして自然の大切さを知ってもらい、守っていききたい。



船頭平閘門と木曾川観光船



ワンド再生のイメージ



ケレップ水制周辺の
エコツアーイメージ

※「かわまちづくり計画」

地域の個性やニーズに対応した河川事業の一層の展開を図るため、地域との連携によりハードとソフトを一体的に整備するにあたり、その実現に向けて市区町村の役割の大きい計画。